

科目名	見学実習			ナンバリング	ZSP283	授業形態	実習
対象学年	1年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	荻原久佳	担当教員	佐藤惇史、福士勇人				

授業の概要	本授業科目は、集中開講方式で医療機関または施設において理学療法士が活躍する現場を見学し、理学療法士の役割と多職種間連携について学ぶ。また、専門基礎科目の人体の構造や人体の機能および運動学等の知識が実際の臨床現場でどのように活用されているのか学ぶ。さらに、地域における施設の役割や各個人の理学療法士としての目的意識を明確化し、今後進むべき進路を確認し学修意欲の向上を目指す。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 見学した施設・病院における理学療法士の役割について説明できる 2. 理学療法の対象者の生活状況やニーズに対して、理学療法士の関わりを説明できる 3. 現場で働く理学療法士の専門性について説明し、自分の個々の課題を明確にできる 4. リハビリテーションの現場で行われるリスク管理について説明できる 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	前年に履修した講義内容を整理し、事前にグループ演習を通して、実習施設の特徴、その地域での役割と機能について、前知識を入手して、臨地実習に臨むこと。実習後は、実際の現場を見学し、学んだことと事前に調査した情報との比較を行い、整理すること。						
ディプロマポリシーとの関連	【健康医療科学部理学療法学科のディプロマポリシー】						
	○	1 広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマンイズムと倫理観を身につけている。					
	○	2 地域に住む人々の健康・医療課題を的確に把握し、疾病や障害を予防することや、疾病や障害から生ずる身体機能および能力の回復・改善を促すことを通して、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	3 健康・医療に関わる課題を解決するために、理学療法士の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた理学療法技術を駆使して日常生活活動に関わる基本動作や身体能力の維持・改善に対する支援ができる。					
○	4 健康・医療に関わる理学療法士の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的かつ能動的な学修ができる。						

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> 1. 見学した施設・病院における理学療法士の役割について理解できる 2. 理学療法の対象者の生活状況に対して、理学療法士の関わりを理解できる 3. 現場で働く理学療法士の専門性について説明し、自分の個々の課題を明確にできる 4. リハビリテーションの現場で行われる標準的予防策について説明できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 見学した施設・病院における理学療法士の役割について説明できる 2. 理学療法の対象者の生活状況やニーズに対して、理学療法士の関わりを説明できる 3. 現場で働く理学療法士の専門性について理解し、他職種との連携を絡めて説明し、自分の個々の課題を明確にできる 4. リハビリテーションの現場で行われるリスク管理について説明できる

成績評価観点	評価項目						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
評価方法							
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○						50%
授業態度・授業への参加		○	○	○	○		50%

課題、評価のフィードバック	実習後、発表会にて全体的なフィードバックを行う。また、個別にmanabaを使用して、フィードバックを行う。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	実習前オリエンテーション①	臨床実習とは、実習の概要、見学実習の意義について確認する	
	第2回	実習前オリエンテーション②	実習中の行動について、臨床で働く(見学)歳のマナーについて学ぶ	
	第3回	実習前オリエンテーション③	実習員必要なコミュニケーション能力について、他職種とのコミュニケーションの取り方について考える	
	第4回	実習前オリエンテーション④	臨床実習に必要なリスク管理について考える	
	第5回	実習前オリエンテーション⑤	グループ演習 実習施設について情報収集	
	第6回	実習前オリエンテーション⑥	グループ演習 実習施設について情報共有する	
	第7回	実習前オリエンテーション⑦	グループ演習 実習前オリエンテーション①～④についてグループ演習を行う	
	第8回	実習前オリエンテーション⑧	グループ演習 実習前オリエンテーション①～④についてグループ演習を行う	
	第9回	見学実習(実習施設)	施設見学、リハビリテーションチームにおける宅割、社会人としてのルールとマナーについて学ぶ	
	第10回	見学実習(実習施設)	施設見学、リハビリテーションチームにおける宅割、社会人としてのルールとマナーについて学ぶ	
	第11回	見学実習(実習施設)	施設見学、リハビリテーションチームにおける宅割、社会人としてのルールとマナーについて学ぶ	
	第12回	見学実習(実習施設)	施設見学、リハビリテーションチームにおける宅割、社会人としてのルールとマナーについて学ぶ	
	第13回	見学実習(実習施設)	施設見学、リハビリテーションチームにおける宅割、社会人としてのルールとマナーについて学ぶ	
	第14回	見学実習(実習施設)	施設見学、リハビリテーションチームにおける宅割、社会人としてのルールとマナーについて学ぶ	
	第15回	見学実習(実習施設)	施設見学、リハビリテーションチームにおける宅割、社会人としてのルールとマナーについて学ぶ	
	第16回	見学実習(実習施設)	施設見学、リハビリテーションチームにおける宅割、社会人としてのルールとマナーについて学ぶ	
	第17回	見学実習(実習施設)	施設見学、リハビリテーションチームにおける宅割、社会人としてのルールとマナーについて学ぶ	
	第18回	実習後オリエンテーション	グループ演習 実習施設のまとめ	
	第19回	実習後オリエンテーション	グループ演習 実習施設のまとめ	
	第20回	実習後オリエンテーション	グループ演習 実習施設のまとめ	
	第21回	実習後オリエンテーション	報告会	
	第22回	実習後オリエンテーション	報告会	
	第23回	実習後オリエンテーション	報告会	

	試験	実習前後のグループ演習の参加態度、見学実習の参加態度、課題の遂行状況、実習後の報告会など総合的に判断する。
授業の進め方		臨地での実習と、実習前後での学内グループ学習を通して、理学療法士の臨床現場での業務の実際、役割、技術について触れ、理解し、個々の課題について明確にしていく。
授業外学習の指示		実習中は、その日、見学、学んだことを、整理し必要な情報を取り出し課題に取り組むこと、実習前グループ学習では、施設の情報収集、必要な知識の整理を積極的に行うこと。 (授業外学習時間: 毎週 240 分)

教科書	本学 臨床実習要項
参考書	必要に応じて提示する
参考URLなど	必要に応じて提示する
その他	